

近畿本部経営工学部会平成 29 年 10 月度 定例会（研修会＋総会）議事録

開催日時：平成 29 年（2017 年）10 月 21 日（土）13:30～17:00

開催場所：公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 会議室

出席者：22 名

司会進行：司会進行 幹事 田代芳樹 村島繁延（以下敬称略）

配布資料：①平成 29 年 10 月度定例会（研修会）議事進行表

②例会出欠表

③研修会講演配布資料（堤 浩子 技術士（生物工学部門））

④平成 29 年度第 3 回理事会の概要

⑤CPD行事参加票

初参加者：徳田進（修習技術者）、山口誠（経営工学部門）（以下敬称略）

1. 研修会

(13:30～16:05)

(1) 開会挨拶（間島部会長）

某社（サービス業）での話であるが、顧客満足は当然で、従業員満足の高い会社にすることが大事だという話である。（ES）顧客の満足度はよく調査されるが、その結果、悪い点は経営陣が反省し、各セクションへは良かった評価を伝えて、やる気を出させるとかが大事であるということらしい。非常に重要な視点での考え方だと思った。参考までに紹介させていただいた。



(2) 講演

講演者：堤 浩子（つつみ ひろこ） 技術士（生物工学部門）

月桂冠株式会社 総合研究所

- ・演題：『酒造りを支える技術 ～酵母開発と清酒醸造～』
- ・概要：清酒は、米、麴を主原料として、2種類の醸造微生物（麴菌と清酒酵母）より造られる。

近年の清酒は香味ともにバラエティに富み、多種多様な個性が生まれている。このようなバラエティのある清酒を造り出すためには、醸造技術の開発のみならず吟醸酒に用いられている清酒酵母の育種も大きく貢献している。また、清酒製造では醸造技術開発も進み、清酒酵母の育種と清酒造りについても紹介する。

－ 休憩（16:10～16:15）－

2. 日本技術士会及び近畿本部からの予定連絡 (16:20~17:00)
- ①10/20~23 日本技術士会／第44回全国大会 (山口)
 - ②10/26~28 第47回 日韓国際技術交流 (釜山にて)
 - ③11/17~18 第23回 西日本技術士研究会・業績発表年次大会 (松山)
 - ④12/9 (土) 近畿本部合同部会研修セミナー (大阪科学技術センター)
テーマ : 技術活用による様々な社会問題への解決支援について
 - ⑤2018/1/13 (土) 近畿本部/賀詞交換会 (セミナーあり)
 - ⑥2018/2/3 (土) 倫理セミナー (阪大/中之島センター)
 - ⑦2018/2/10 (土) 産学官と技術士の合同セミナー (場所 未定)
3. 日本技術士会 近畿本部からの活動実績報告
- ①10/8 平成29年度技術士第1次試験実施
 - ②近畿本部の各委員会の活動が本格化してきている (主なもの)
 - ・修習技術者支援委員会
 - ・技術士活性化委員会が活動開始
大阪市テクノマスター制度を支援
各協会や団体からの支援技術士対応など
4. 近畿本部 経営工学部会の活動予定
- ①11/6 (月) 業務研究会との合同見学会+交流会
 - ②12/16 (土) 2017年度12月度 部会研修会+忘年会
 - ③2018/1/27 (土) 技術士を目指そう2018! in大阪
5. 経営工学部会の検討事項 (含む、今後の予定)
- ①2018/1/27 開催の「技術士を目指そう2018! in大阪」
 - ・当日の実行プログラム
 - ・各委員の作業役割など
 - ・費用予算化など
 - ②「部会+研修会」での発表希望者も求める
 - ・他の部会メンバーからの発表も検討する
6. 近畿本部からの連絡・検討依頼事項 (部会長会から)
- ①近畿本部／協賛団体の加入募集の件 企業紹介のお願い、各部会への補助
 - ②「技術士会」の活性化 及び 会員拡大に向けた取り組み
7. 自由意見の交換・その他 (16:50~16:55)
- 日本経営工学会とも交流していきたい、近々では11月17日(金)17時半から関西支部にて発表会もある。可能な人は参加していただければと思う。(間島部会長)
8. 閉会 (田代副部会長) (16:55~17:00)
- N社や、K社での無資格者検査、データ改ざんは狭い意味でのQCの問題ではなく、広くQCDにからんだ問題といえ、経営工学の視点からは非常に重要なハンドリングすべき関連事項であると考え。今後の部会もそういった議論を通じて、発展させていきたい。
- 以上 (文責 : 村島繁延)